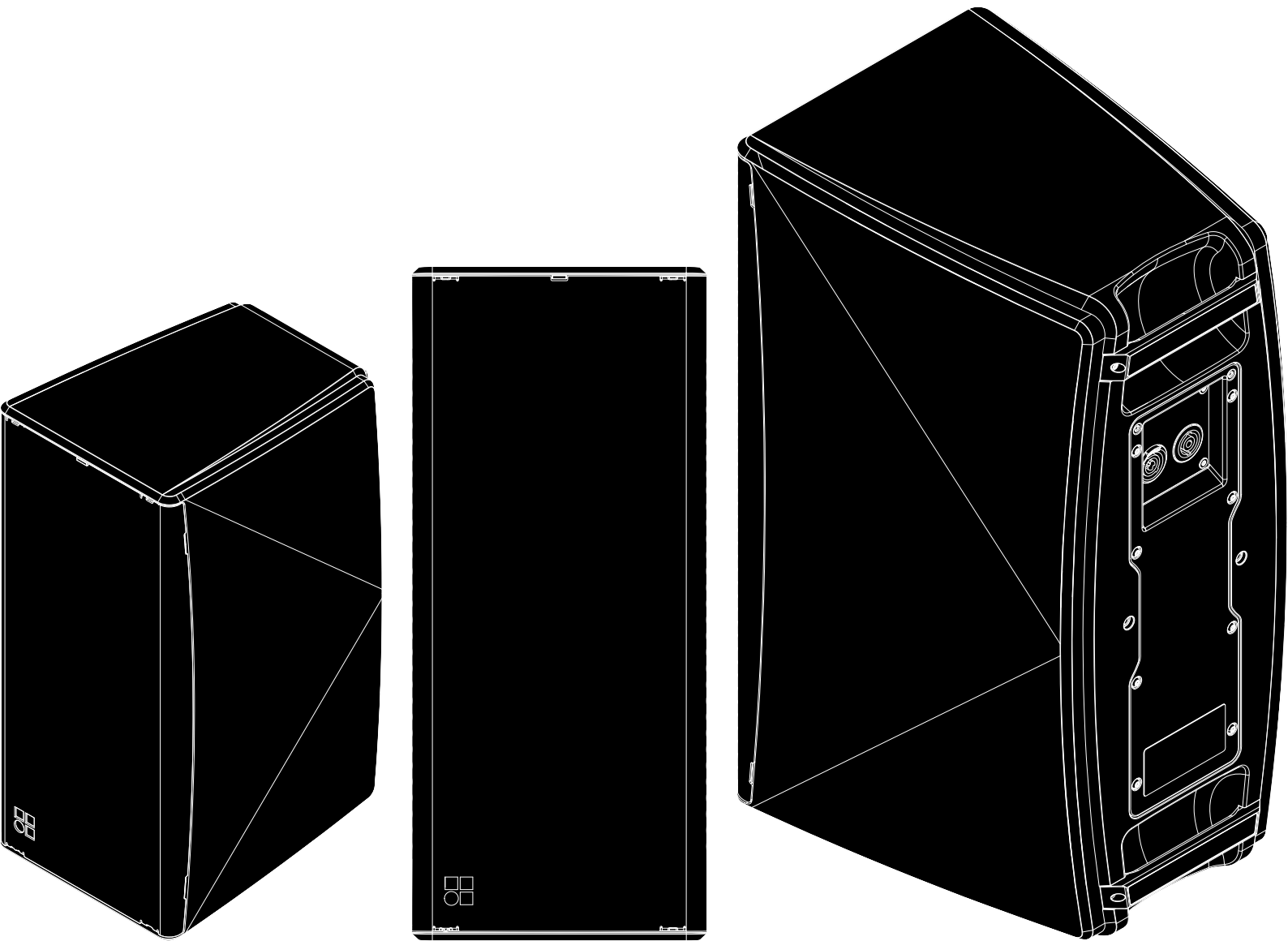


U

U3/U5/U7 マニュアル 1.2 ja



ドキュメントバージョンに関する注記

バージョン 1.2:

新たな構成のアンプ仕様による改訂バージョン。

参照：

⇒ 5 ページの 2.1 章 「使用用途」

および

⇒ 12 ページの 2.5 章 「技術仕様」。

概説

U3/U5/U7 マニュアル

バージョン 1.2 ja, 06/2026, D2790.JP .01

Copyright © 2026 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本説明書の最新版が発行されていないか、d&b ウェブサイトで定期的にチェックされることをお勧めします。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang, Germany
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00

目 次

1	ラウドスピーカーに関する安全上の注意	4
2	U3/U5/U7 ラウドスピーカー	5
2.1	使用用途	5
2.2	コネクタ	6
2.3	使用	6
2.3.1	コントローラーの設定	6
2.4	指向特性	8
2.5	技術仕様	12
2.5.1	U3	12
2.5.2	U5	13
2.5.3	U7	14
3	製造者宣言	15
3.1	ラウドスピーカーの適合性	15
3.2	WEEE 宣言（廃棄について）	15

人体に傷害をもたらす可能性があります。

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量（約 95dB の音圧レベル SPL から）であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

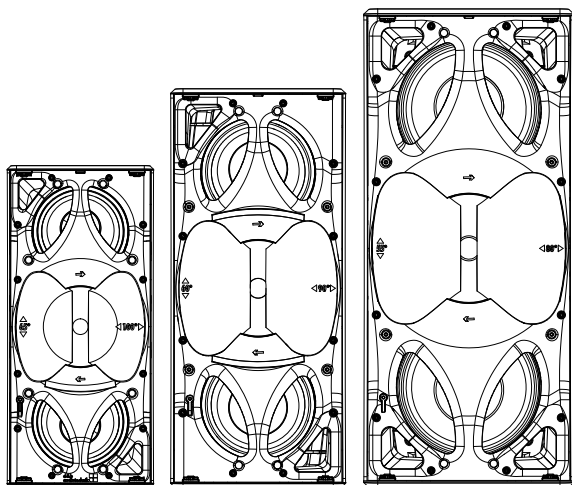
ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください。

- ▮ ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- ▮ 設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社の「組立の説明書」または「リギングマニュアル」に詳細が記載されているアクセサリの正しい使用法および最大荷重量に注意を払ってください。
- ▮ 固定設備で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ▮ ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- ▮ 機器の荷重を支持するボルトはすべて、定期的に点検を行ってください。

機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにないことを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）からは 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。

2 U3/U5/U7 ラウドスピーカー



2.1 使用用途

U シリーズ U3、U5、U7 ラウドスピーカーは、一般的なポイントソース用途を幅広くカバーする、コンパクトな高性能ラウドスピーカーファミリーを構成しています。これらは仮設用または固定設置用として設計され、そのいずれかで使用されることを想定しています。

注意!

d&b ラウドスピーカーには正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法では、ラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあり、システムの持つ指向特性を十分に発揮できません。

推奨されるアンプ

D25/D40/D80/D90/5D/25D/40D

すべてのキャビネットにはバスレフ型のネオジミウム LF ドライバー 2 基と、回転可能な CD ホーン上に搭載された HF ドライバー 1 基が収納されており、ツールを一切必要とせずに回転式の指向特性を提供します。

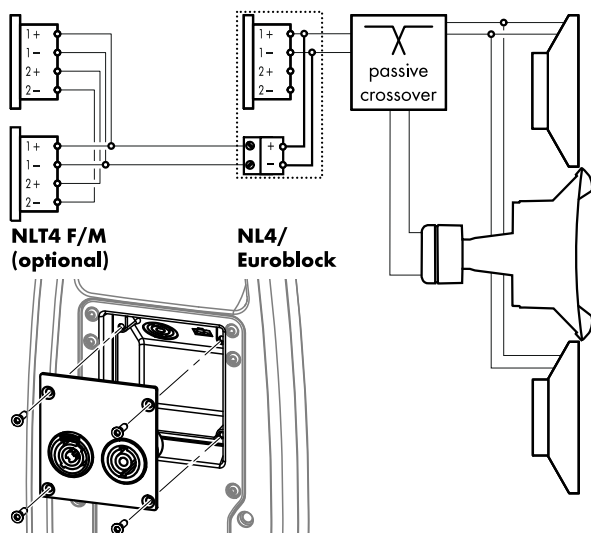
キャビネットは組み込みのパッシブクロスオーバーネットワークを備えた双方向型のデザインで、スタンドアロンのシステムとして使用することも、B10-SUB などの対応する d&b サブウーファーと併用することも可能です。

2 基の LF ドライバーは双極配置されており、低周波域でも垂直方向の指向性制御を可能にします。

最適化されたフロー特性によって特別に設計されたポートは、低周波を効率的に再現します。

射出成形によるキャビネット筐体の素材は部分的にリサイクルされた高耐久性の ABS で、耐衝撃性を持つ塗装仕上げが施されています。キャビネットの前面パネルには、音響透過性と撥水性のあるファブリックを裏側に貼りつけた頑丈なメタルグリルが組み込まれています。

それぞれの背面パネルにはハンドルが取り付けられており、また 2 個の M8 ねじ込みインサートによって様々な設置用アクセサリを取り付けられるようになっています。



コネクター配線図 (NLT4 F/M オプションとともに表示)

2.2 コネクター

標準装備として、キャビネットにはピン配列 1+/1- を使用する NL4 M コネクターソケットが用意されています。それに加え、2 ピンの Euroblock コネクターが並列で配線されています。

NLT4 F/M オプション

さらに、NLT4 F/M コネクターパネルをオプションとして取り付けることができます。

双方のコネクターの全 4 本のピンは並列で配線されています。キャビネットはピン配列 1+/1- を使用します。ピン 2+/2- は対応する d&b サブウーファー用に割り当てられています。一方のコネクターをインプットとして使用し、もう一方のコネクターによって 2 つ目のキャビネットを直接接続することができます。

2.3 使用

アンプの出力モード : Dual Channel または Mix TOP/SUB		
用途	設定	チャンネル/キャビネット
U3	U3	3*
U5	U5	2*
U7	U7	2*

*注記 : d&b 5D アンプの場合は、[Power share calculator](#) を使用してリンクオプションを決定してください。

2.3.1 コントローラーの設定

音響特性の調整については、CUT、HFA、CPL 機能を選択できます。

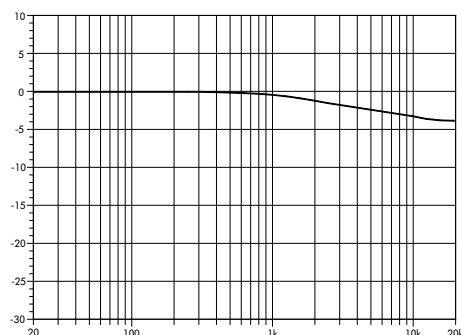
CUT モード

CUT に設定すると低周波レベルが減少し、キャビネットは対応する d&b サブウーファーと組み合わせて使えるように設定されます。

HFA モード

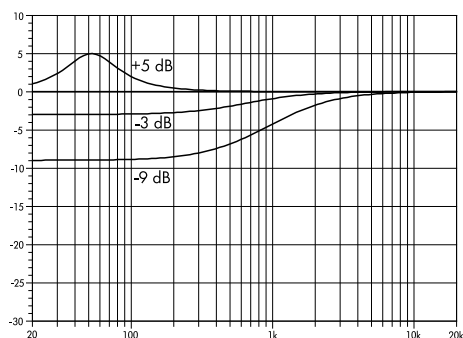
HFA (高周波減衰 : High Frequency Attenuation) モードでは、システムの高周波特性がロールオフします。HFA により、キャビネットが聴衆に近接したニアフィールドに設置される場合や、ディレイ用途の際に、周波数特性が自然で安定したものとなります。

高周波減衰は 1 kHz から徐々に始まり、10 kHz でおよそ 3 dB 減衰します。このなだらかな減衰は、残響が多い空間や客席でシステムから離れて音を聴くときに体感する周波数特性の変化とよく似ています。



HFA モードにおける周波数特性の補正*

*スキマティックダイアグラム



CPL 機能の周波数特性の補正

CPL 機能

CPL（カップリング：Coupling）機能では、キャビネットと、密接する境界面との間のカップリングによる影響を補正します。CPL はおよそ 1 kHz から徐々に始まり、400 Hz 以下で減衰が最大になります。バランスのとれた周波数特性を実現するため、CPL 機能を 0 ～ -9 の間の dB 減衰値に設定することができます。

サブウーファーを併用せず、システムをより低いレベルで使用する場合は、正の CPL 値（0 ～ +5 dB）を用いることで低周波の出力を増加させることができます。

拡張フルレンジモード

CPL ブースト機能を使用すると、U3、U5、U7 ラウドスピーカーで一貫性のある低域拡張を実現することもできます。以下に挙げる U3 および U5 キャビネットの CPL 設定により、すべてのキャビネットの低域コーナー周波数が 55 Hz になります。

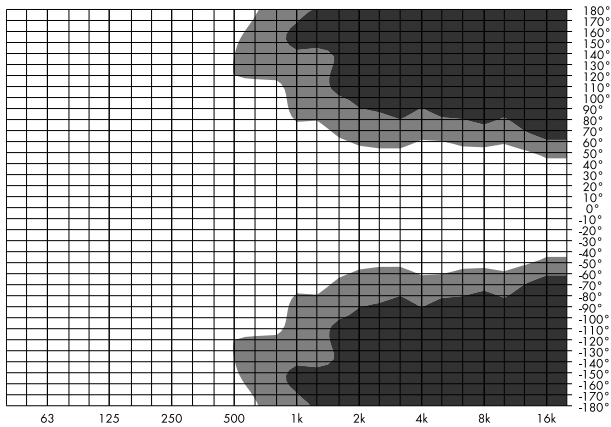
- **U3** : CPL +3 dB
- **U5** : CPL +2 dB

⇒ 12 ページの 2.5 章「技術仕様」も合わせて参照してください。

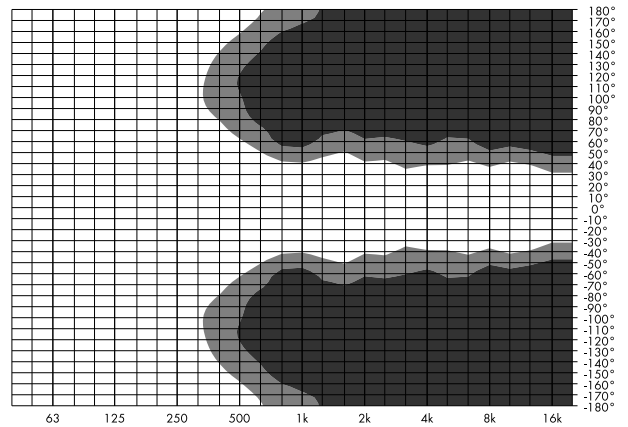
2.4 指向特性

下のグラフは、単独のキャビネットの周波数に対する指向角度を、-6 dB および -12 dB の音圧を線に置き換えた等圧線（アイソバー）で表示しています。

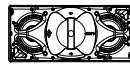
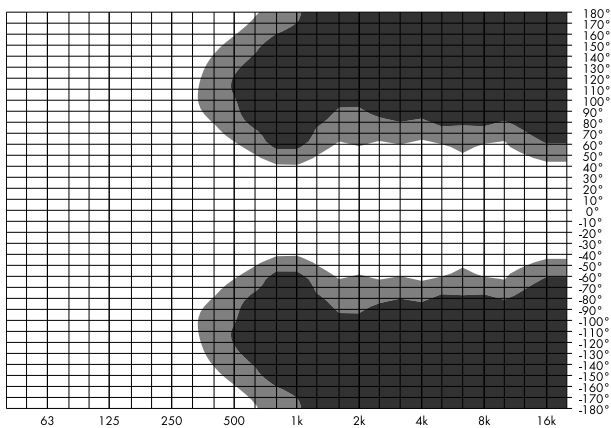
U3



U3
垂直セットアップ

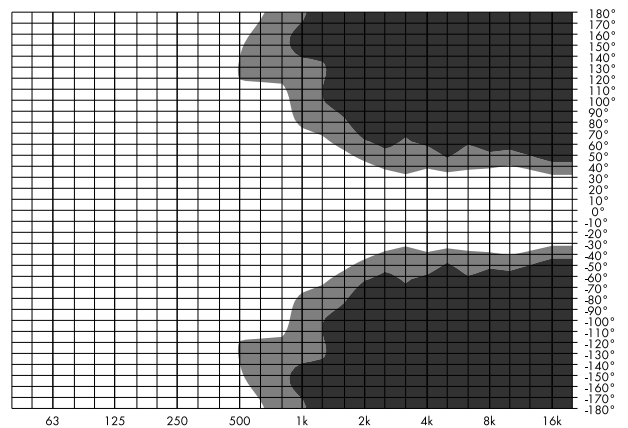


アイソバー図 U3 水平、標準セットアップ



U3
水平セットアップ、
ホーン回転

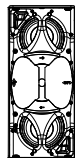
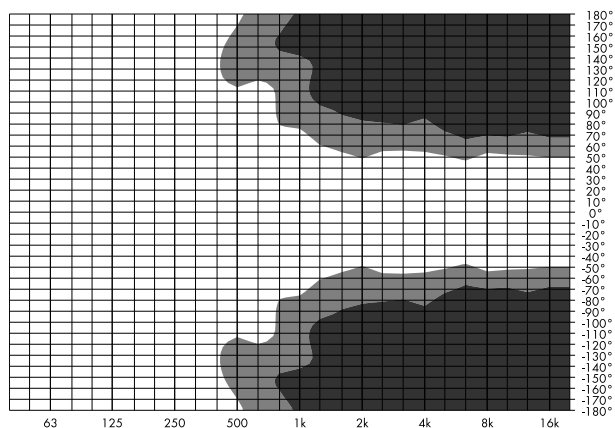
アイソバー図 U3 垂直、標準セットアップ



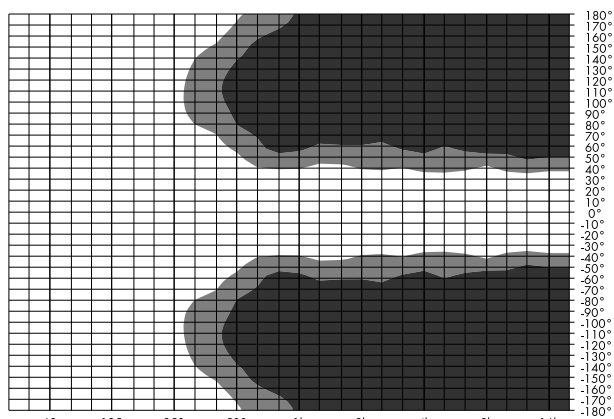
アイソバー図 U3 水平、標準セットアップおよびホーン回転

アイソバー図 U3 垂直、標準セットアップおよびホーン回転

U5

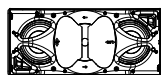
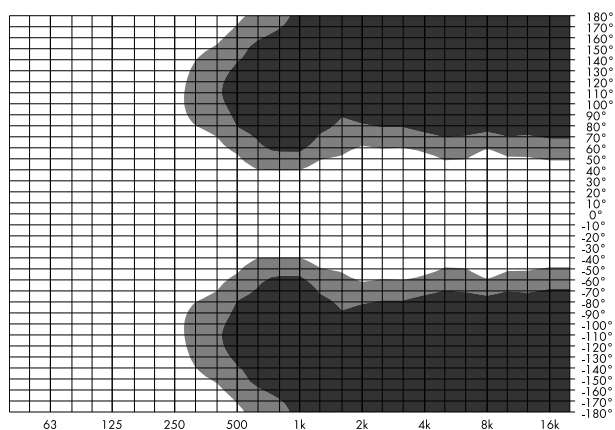


U5
垂直セットアップ

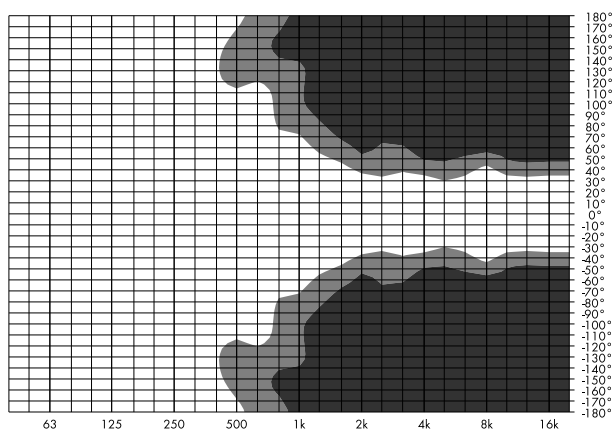


アイソバー図 U5 水平、標準セットアップ

アイソバー図 U5 垂直、標準セットアップ



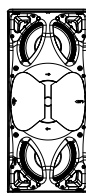
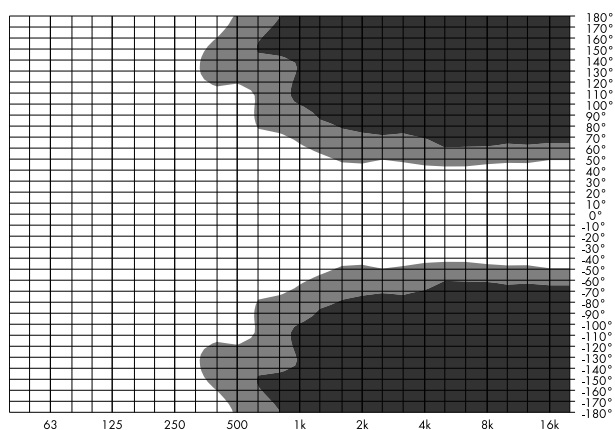
U5
水平セットアップ、
ホーン回転



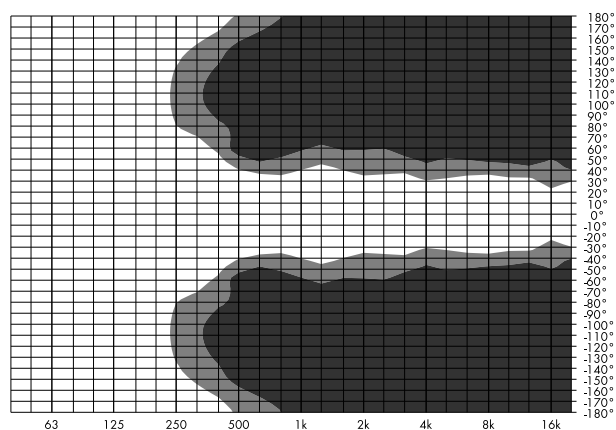
アイソバー図 U5 水平、標準セットアップおよびホーン回転

アイソバー図 U5 垂直、標準セットアップおよびホーン回転

U7

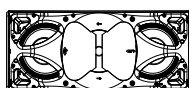
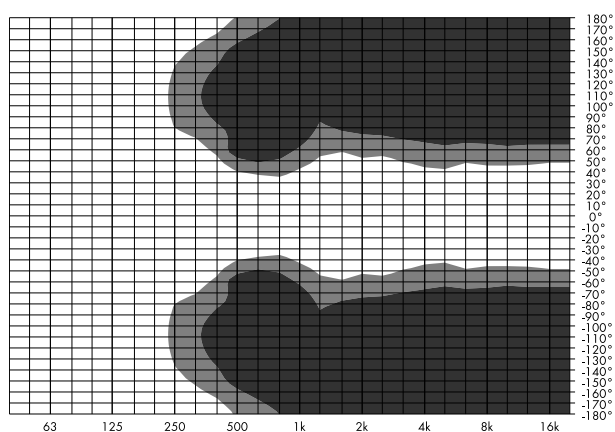


U7
垂直セットアップ

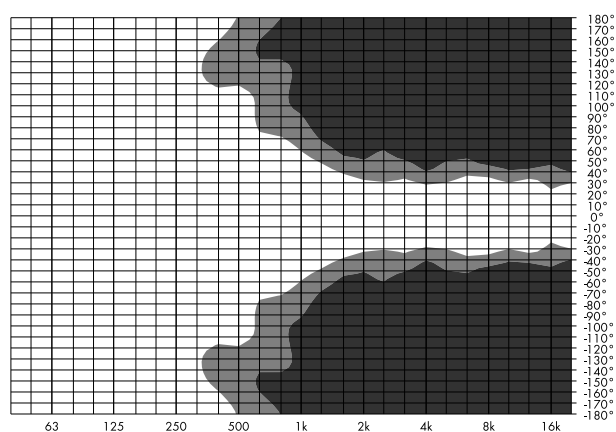


アイソバー図 U7 水平、標準セットアップ

アイソバー図 U7 垂直、標準セットアップ

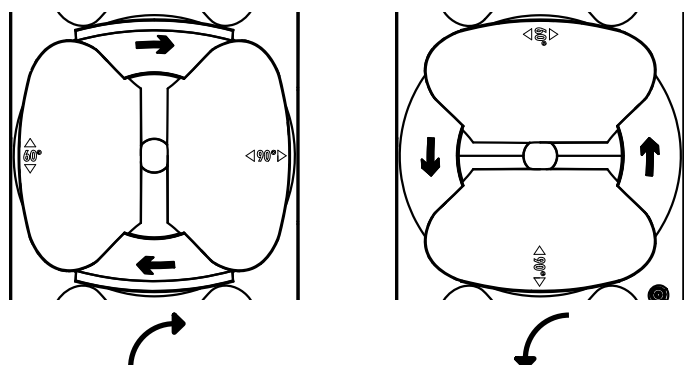


U7
水平セットアップ、
ホーン回転

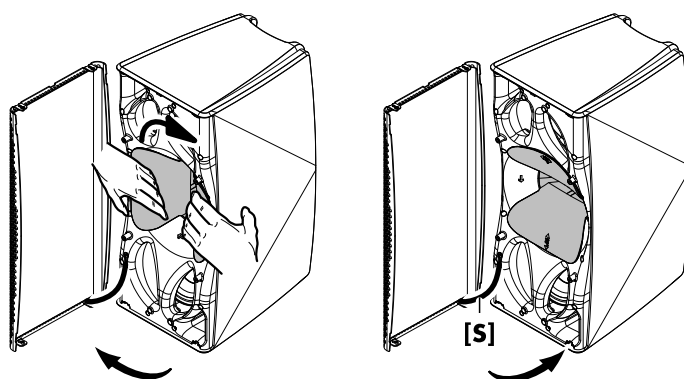
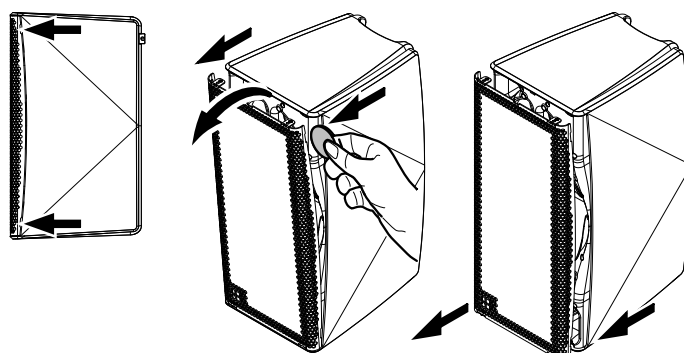


アイソバー図 U7 水平、標準セットアップおよびホーン回転

アイソバー図 U7 垂直、標準セットアップおよびホーン回転



可能な回転方向と、設定された指向角度の向き



ホーンの回転

HF ホーンの指向性の変更

工場出荷時、HF ホーンはキャビネットを直立させた状態で公称水平指向角度となるように設定されています。

注意!

コンポーネント損傷のおそれ!

HF ホーンは一方方向にしか回転できません!

反対側の図に示すように、**時計回りに 90° (↻)**、および/または逆方向の**反時計回り (↺)**。

実際の設定された指向角度はホーンのフランジにも示されます。

ホーンの回転は以下のように行います:



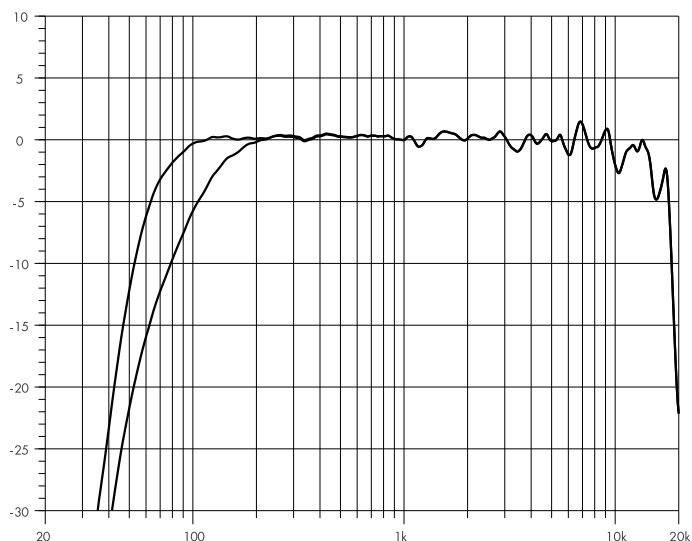
注意!

落下物による負傷のおそれ!

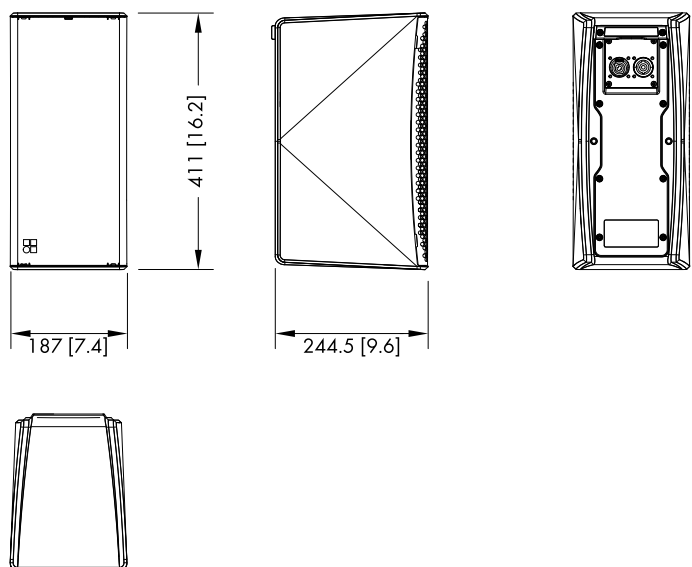
- ▮ キャビネットを設置または吊る前に、希望するホーンの向きをセットしてください。
- ▮ キャビネットが設置されている、あるいは地上からフライング設置されている間は、フロントグリルを取り外さないでください。

グリルは、上部と下部の隅にあるスナップイン式のメカニズムによってバッフルにしっかり固定されています。それに加え、グリルはセーフティーワイヤー **[S]** によって固定されています。

1. 反対側の図に示すように、適切な硬貨を使ってグリルを取り外します。
2. ホーンフランジの外側の端を掴んで、希望の位置 (方向) に回します。
3. フロントグリルを再度取り付け、カチッとめめます。
 - ↳ セーフティーワイヤー **[S]** がバッフルとキャビネットグリルの間に位置していることを確認してください。



U3 周波数特性、標準および CUT モード。



U3 キャビネット寸法 mm [インチ]

2.5 技術仕様

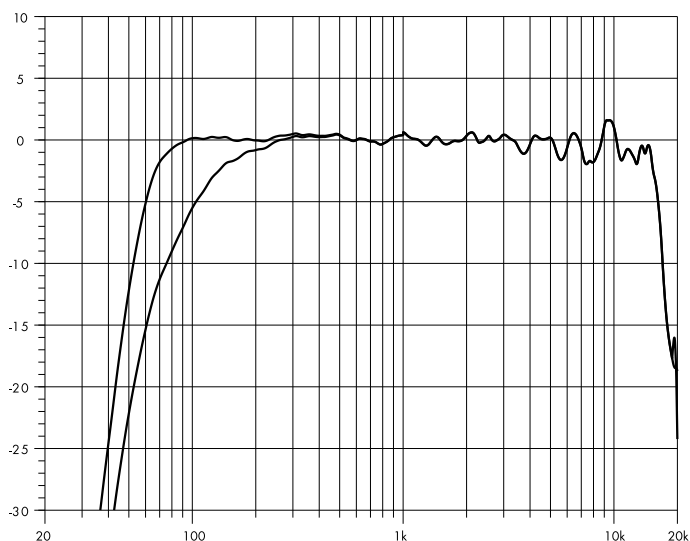
2.5.1 U3

システムデータ

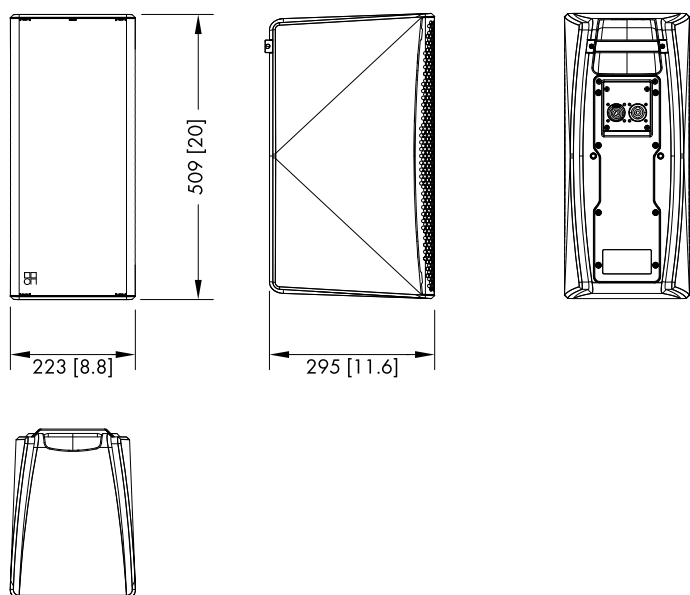
周波数特性 (-5 dB 標準)	61 Hz - 18 kHz
周波数特性 (-5 dB CUT モード)	105 Hz - 18 kHz
周波数特性 (-10 dB 標準, IEC60268)	52 Hz - 19 kHz
周波数特性 (-10 dB CUT モード, IEC60268)	80 Hz - 19 kHz
拡張フルレンジモード (-5 dB @ CPL: +3 dB)	55 Hz - 18 kHz
最大音圧レベル (SPL) (ピーク、1 m、自由音場、クレストファクター 4 のピンクノイズ)	
D90/D80/D40/D25/D20/5D/25D/30D/40D と併用した場合	128 dB
10D と併用した場合	126 dB

ラウドスピーカーデータ

公称インピーダンス	12 Ω
定格出力 (RMS/ピーク 10 ms)	150/500 W
公称指向角度 (水平 × 垂直)	100° × 65°
コンポーネント	ネオジミウム磁性体構造 2 × 5 インチドライバー ... 1 × 0.75 インチスロート径 HF コンプレッションドライバー、1.4 インチコイル
	回転式 CD ホーン
	パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター	NL4 M と 2 ピン Euroblock の並列
	追加のコネクターオプション: NLT4 F/M
ピン配列	1+/1-
質量	7.1 kg (15.7 lb)



U5 周波数特性、標準および CUT モード。



U5 キャビネット寸法 mm [インチ]

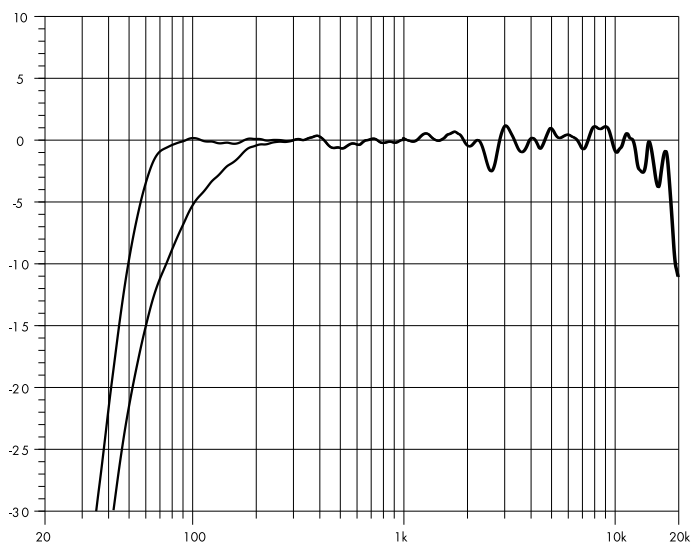
2.5.2 U5

システムデータ

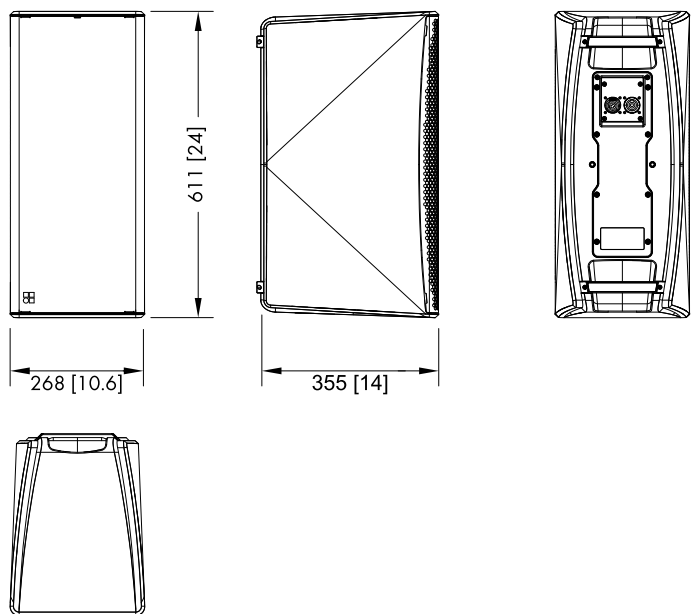
周波数特性 (-5 dB 標準)	58 Hz - 17 kHz
周波数特性 (-5 dB CUT モード)	105 Hz - 17 kHz
周波数特性 (-10 dB 標準、IEC60268)	52 Hz - 18 kHz
周波数特性 (-10 dB CUT モード、IEC60268)	75 Hz - 18 kHz
拡張フルレンジモード (-5 dB @ CPL: +2 dB)	55 Hz - 17 kHz
最大音圧レベル (SPL) (ピーク、1 m、自由音場、クレストファクター 4 のピンクノイズ)	
D90/D80/D40/D25/D20/5D/25D/30D/40D と併用した場合	133 dB
10D と併用した場合	130 dB

ラウドスピーカーデータ

公称インピーダンス	8 Ω
定格出力 (RMS/ピーク 10 ms)	200/700 W
公称指向角度 (水平 × 垂直)	90° × 60°
コンポーネント	ネオジウム磁性体構造 2 × 6.5 インチドライバー 1 × 1 インチスロート径 HF コンプレッションドライバー、1.7 インチ コイル
	回転式 CD ホーン
	パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター	NL4 M と 2 ピン Euroblock の並列
	追加のオプション: NL4 F/M
ピン配列	1+/1-
質量	11.5 kg (25.4 lb)



U7 周波数特性、標準および CUT モード。



U7 キャビネット寸法 mm [インチ]

2.5.3 U7

システムデータ

周波数特性 (-5 dB 標準)	55 Hz - 18 kHz
周波数特性 (-5 dB CUT モード)	105 Hz - 18 kHz
周波数特性 (-10 dB 標準、IEC60268)	50 Hz - 20 kHz
周波数特性 (-10 dB CUT モード、IEC60268)	75 Hz - 20 kHz
最大音圧レベル (SPL) (ピーク、1 m、自由音場、クレストファクター 4 のピンクノイズ)	
D90/D80/D40/D25/D20/5D/25D/30D/40D と併用した場合	136 dB
10D と併用した場合	133 dB

ラウドスピーカーデータ

公称インピーダンス	6 Ω
定格出力 (RMS/ピーク 10 ms)	400/1400 W
公称指向角度 (水平 x 垂直)	80°x55°
コンポーネント	ネオジミウム磁性体構造 2 x 8 インチドライバー 1 x 1.26 インチスロート径 HF コンプレッションドライバー、2.4 インチコイル
	回転式 CD ホーン
	パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター	NL4 M と 2 ピン Euroblock の並列
	追加のオプション: NLT4 F/M
ピン配列	1+/1-
質量	19.2 kg (42.3 lb)



3.1 ラウドスピーカーの適合性

この宣言は、以下の製品に適用されます。

▮ **d&b Z1005 U3** ラウドスピーカー

▮ **d&b Z1010 U5** ラウドスピーカー

▮ **d&b Z1015 U7** ラウドスピーカー

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG.

製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が該当する指令の規定条項（全ての修正を含む）に準拠していることを宣言いたします。

該当する宣言の詳細は、d&b にご要請頂くか、www.dbaudio.com の d&b ウェブサイトからダウンロードすることもできます。



3.2 WEEE 宣言（廃棄について）

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国や地域の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

WEEE-Reg.-Nr. DE: 13421928

